

産業経営研究所ニュース

2015年 3月発行 No.4

産業経営研究所には、様々な資料が所蔵されていますが、今回もその中から皆さんに一部を紹介したいと思います。

「eol企業情報データベース(有価証券報告書)」というデータベースをご存知ですか？

「eol」とは、国内企業の基本情報、財務情報等を収録したデータベースです。有価証券報告書は最大で1961年以降が収録されています。

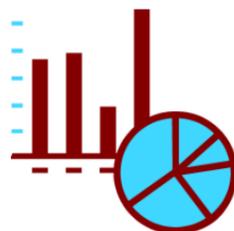
有価証券報告書とは、特に影響力の大きい主に上場企業が、証券市場における投資判断資料としてその企業の情報を法律に基づいて、1年毎に作成・開示しているもので、国への提出義務のある資料であるため、マイナス面であってもその事実をありのまま記載しなければならないものです。

虚偽の内容を記載するなどした場合には、法律違反として罰せられる可能性もあります。そのため、企業の真の姿を知る上で、非常に信頼性の高い資料であり、会計、企業分析等のテーマで研究、学習を行うための有益な素材であるのです。

また、就職活動時には希望する業界・企業についてのマイナス面も含めた姿を知ることができ、比較・参考資料として使うことができます。

「有価証券報告書」という名前から、取っ付き難く、硬いイメージがありますが、その内容を理解することで、企業研究の有益な情報源として使うことができ、また就職活動の手助けにもなります。

まずは、一度使ってみてはいかがでしょうか？



アクセス方法:産業経営研究所HP

⇒ 左側メニューの「産業経営研究所概要」

⇒ データベース

⇒ 「eol企業情報データベース(有価証券報告書)」

「Automatic Login」より利用

※使い方がわからないときは、産業経営研究所事務室までお問合せください。

国勢調査報告

不定期刊行(5年に1回)

総務省統計局 編

「国勢調査」は、日本に住んでいる全ての人と世帯を対象に行う重要な統計調査で、5年ごとに行われています。今年、平成27年は調査の年にあたります。

調査事項は主に男女、年齢、配偶関係等の人口の基本的属性及び産業、職業等の経済的属性です。つまり、どこに何人の人が住んでいるか、どんな職業に就いているか、などを調査するものです。

都道府県別に発行されており、さかのぼって見てみると、自分の住んでいる県や出身県の人口の変化などを知ることができます。

産業経営研究所は、1号館7階(北側)にある、大学の付属機関です。

経済・経営にかかわる基本資料について、大学関係、会社関係、政府・日銀関係、アジア経済研究所などの経済・経営分野の研究機関からの資料を中心に所蔵しており、その資料を閲覧することができます。

利用時間

講義期間

月～金 : 9:00～18:00 土 : 9:00～13:00

講義期間以外

月～金 : 9:00～17:00 土 : 9:00～13:00

その他、学園祭、入学試験などで臨時に閉室することがありますので、入口ドアに掲示している開室スケジュール、またはホームページでご確認ください。

今後も産業経営研究所について、情報を発信します。

☆利用についてわからないことがあれば、事務室へお気軽にお尋ねください☆